

編集・発行 社会福祉法人 鹿児島市手をつなぐ育成会

〒 891-0102 鹿児島市星ヶ峯 2-1-1 鹿児島市知的障害者福祉センター 2F (ふれあい館)

Tel 099-264-8725 Fax 099-296-8180 ホームページアドレス <http://tewotsunagu.org/>

希望の園/育成センターコスモス/第二コスモス/とまと/ふもと/石谷コスモス

相談支援事業所 希望の園/相談支援センター石谷の郷/さくらぼホーム/さくらホーム/グループホーム悠々

きぼう学舎/わくわくコスモス/キッズステーション星ヶ峯



令和2年 鹿児島市手をつなぐ育成会 成人式 (ふれあい館)

目指す職員像

理事長 宮 脇 隆 一

法人は利用者の方々が「その人らしく心豊かに生きる人生」を支援することを目的にしています。そのためには職員の育成は最重要と捉え、「人材育成の基本方針」に基づき、研修に取り組んでいます。

基本方針では※四つの理念を掲げ、職員が明るく活気ある職場づくりを進め、目的を達成することを目指しており、研修をする場面は「職務(法人研修)」「職務外(外部研修)」「自己啓発(自主)」として、それぞれの研修過程と内容は「キャリアパス」という職務階層の位置づけに関連しており「初任者」「中堅」「主任」「管理者」の段階を形成しています。

研修の内容は多岐に亘り、法律をはじめ多様な知識を整理して身につけることや、利用者の方々が直面している様々な課題を「聞き取る」能力の取得が重要とされています。

法人の目指す職員像は、利用者の方々が心豊かな共生社会で生活するために、支援のツールを装備して「事業所」「法人」が一丸となって向き合うチームの一員であることと思っています。

※理念「権利擁護」「共生社会の実現」「地域貢献」「生涯支援」

祝新成人

贈る言葉(祝成人)

育成会事務局長 中釜 広栄

「敦盛」を好んで舞った織田信長の時代は「人間五十年化天のうちを比ぶれば夢幻の如くなり」でしたが、二〇一四年に男性、女性とも平均寿命が八十歳を超えたと思ったら、痛む節々を嘆きながら「九十歳何がめでたい」と息巻く気力旺盛な方もいて、人生百年時代がすぐそこまで迫っています。

二十歳になったのを機会にこのことを少し考えてみるのも一興かなと。政府の「人生百年時代構想会議」のメンバーを務めるロンドン・ビジネススクールのリンダ・グラットン教授の話です。

「たった一つのスキル、あるいはごく一般的なスキルを身につけているだけでは、長い人生の多彩な状況に対応できません。年齢により変わる時々の状況に応じて、新しいことを学び、新しいスキルを身につけていく必要が出てきます。」

「ワークスタイルについても、フルタイムが必ずしも最善であるとは限らず、介護や子育て、スキル習得など人生の場面に応じてパートタイムを選ぶ時期があつていい。」

「教育学ぶ」、仕事(働く)、引退(余生)という区切りではなく、その時々で「学ぶ」と「働く」が絡み合うマルチステージの人生プランが必要になります。」

「高齢になって真の意味で自分を助けてくれるのは「無形の資産(個人の資質)」です。①生産性/常に何かを学び続ける姿勢②活力/心身の健康③変身する力/今とは違う自分を作りあげる能力、が必要です。」

時の刻みは残酷で、決して元には戻りません。未来を見据えながら今を楽しんで、良き人生にしてください。

成人を迎えて

濱田 健太

先日、無事に成人の日をむかえることができました。とてもうれしかったです。家族や先生方などいろいろな人の支えがあつたがりがだと思ひます。現在、は、スロロ新栄店ではたらいいます。店の人もとても親切で、いろいろなことを教えてくださつたり、声をかけてもらつたりして、健康な大人な体で長く働くことができようになっています。また、自分でも努力していきたいです。料理作りや洗濯など、新しいことへチャレンジしていきます。



はまだ けんた 濱田 健太 様

成人を迎えて

今吉 二千華



いまよし にちか 今吉 二千華 様

私は、式の前の日からドキドキしました。久しぶりに学校の先生やお友達に会えると、思ったが、たがらず。楽しくてすばらしい式でした。お祝いの言葉もうれしが、たがらず。ありがとうございます。いましました。

これがら大人仲間です。花の木冷菓堂の皆さんと、仲良くお仕事をがんばります。そしてお給料をためて、大好きなアニメの映画をみたり、DVDを買いたいです。これからも応援よろしくお願ひします。



成人を迎えて

石谷コスモス保護者 今田 正三

成人となるこの年を迎え、また一つ考えることが増えました。裕介にとつての成人とは何なのか？私は、彼の義務と権利の所在に対し我々家族がさらに大きく担う必要が出てきたことを示すものではないか、と考えます。

諸行無常。彼を取り巻く環境は刻一刻と変わっていきます。ただ彼は変わらないことの必要性を我々に質しています。

我々の思いは先人たちが拓き、道を作ってくださった結果です。今後は後輩たちが少しでも豊かな将来を築くことが出来るよう、より多くの情報を伝えることが大切になります。裕介を、命を紡ぐという困難な使命と与えられた課題に取り組めることについて感謝いたします。

裕介へ。お母さんとお父さんはいつでもそばにいるからね。



いまだ ゆうすけ 今田 裕介 様

成人式を迎えて

石谷コスモス保護者 東 和歌子

先日、成人式を迎え二十年間を改めて思い返す機会になりました。

何もかもが分からないことだらけで不安でしたが航太郎の頑張っている姿や笑顔に救われ、これまでやってこれたと思います。

保育園、療育、養護学校のお世話になった多くの方々に支えられ、そして今の石谷の郷の職員の皆様にも支えられ無事に成人式を迎えることができ心より感謝申し上げます。

これからも航太郎の笑顔に癒されながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

航太郎、成人おめでとう。これからの人生も笑顔で過ごせるように一緒に頑張っていこうね。



ひがし こうたろう 東 航太郎 様



成人式の様子



地域共生センター石谷の郷



松元中学校吹奏楽部



来賓祝辞



家族会バザー



利用者ダンス

地域共生センター石谷の郷の施工に伴い、最後の行事となる落成記念式展が開催されました。秋晴れに恵まれた十月二十六日は、地域住民代表の方や法人関係者を含む二百人に出席していただき、竣工を盛大に祝うことができました。

石原様による祝舞、工事関係者への感謝状の贈呈、利用者代表のお祝いの言葉で式典がスタートしました。舞台発表では松元中学校吹奏楽部五十六人による素晴らしい演奏や海老原様による歌、わくわくコスモスの利用者の方々を中心にしたダンスなどが披露され、家族会のバザーや屋台は大盛況でした。来年度からは秋祭りとして同時期に実施する予定です。

石谷コスモス（生活介護）

八月、地域共生センター石谷の郷の一階に石谷コスモスを開所しました。十二月の時点で二十四人の方々に契約していただき活動しています。日中活動では、ADL（移動、食事、排泄など）を基本として、ストレッチ（PTと連携）、カラオケ、創作、体力づくり、生活支援、園外活動などを行っています。音楽・ダンスにおいては、育成センターコスモスと合同で活動しています。まだ生まれたいばかりの事業所で、創意工夫が必要ですが、今後も利用者の方々の自己実現に向けて、思いをくみ取りながら、丁寧な支援をしていきたいと思っています。



放課後等デイサービスわくわくコスモス

わくわくコスモスは八月に開所した地域共生センター石谷の郷の二階へ移転しました。新施設には広々としたプレイルームやテラスがあり、キャッチボールをしたり追いかけっこをしたりと、毎日元気いっぱい遊び姿が見られます。反対にゆっくりと過ごしたい利用者の方々は仕切りのある学習室で、ビーズ制作や音楽鑑賞をして過ごしています。部屋の使い分けによって、利用者の方々の「これがしたい!!」という気持ちに合ったことを楽しむことができます。

また、利用者の方々の良さを引き出すことができる環境を設定するなど、日々の活動の幅が広がり、充実した時間を仲良く過ごしています。



児童発達支援事業所 わくわくコスモス



屋上のテラスで青空の下、プールあそびを楽しむ子どもたち。



様々な乗り物で楽しむ子どもたち。



プレイルームでストライダーを楽しむ様子。



廃材で公園を作った制作あそび！



屋上のテラスでかけっこやシャボン玉あそびを楽しむ。



ゆっくりと慎重に紙コップタワーに挑戦！

わくわくコスモスは、令和元年八月に地域共生センター石谷の郷の二階へ移転しました。新施設は、広々としたプレイルームを完備しておりストライダーに乗ったり、トランポリンで跳んだり、友だちと走り回ったりなど、子どもたちは思いっきり体を動かせることに大喜びです。また、トイレとつながる動線のよい活動室は、廊下側にマジックミラーを設置してあるので、いつでも参観が可能です。屋上のテラスでも青空の下、プールやシャボン玉遊びを楽しむことができます。

グループホーム 悠々

育成会の新たな事業所として

八月に石谷町にオープンした地域共生センター石谷の郷。その中に、グループホーム悠々があります。男性五名、女性五名の併せて十名の方々が、毎日、楽しく過ごしていらつしやいます。家庭的な雰囲気を感じていただけるように、世話人や生活支援員が協力して、利用者の皆さんの生活を支えています。当初は、利用者の皆さんにも、不安や緊張があったようですが、今では、自分の家のように感じていただけるようになりました。短期入所施設も併設していますので、皆さん、一度、足を運んでみてください。利用者、職員一同、お待ちしております。

休日の過ごし方



短期入所について

日中サービスタイプグループホームの施設に併設されています。部屋数は四部屋あり、人的配慮にもグループホームと同様になるため、夜間支援も男女別の生活支援員二人が行います。施設設備は食堂や浴室についてはグループホームの入居者と共用ですが、トイレと洗面所は専用です。また、居室の壁は可動式になっていて、仲の良い利用者二人が二室を一室にして宿泊することもできます。他事業所を利用されている方や学童の方が短期入所を利用されることが増えております。見学等を含めて気兼ねなくおいでください。

ショートステイを利用して

僕は、ショートステイでテレビを見たり、職員さんと話をしたりしています。職員さんはおもしろい人や、さびしい人もいますがとてもやさしい人たちです。

ショートステイを利用して

僕は、ショートステイを利用しています。初めは少し緊張しましたが、部屋をつなげて友達と一緒に泊まる事が出来て楽しかったです。テレビでユーチューブも見れました。悠々の利用者さんや職員さんと色々な話をしてコミュニケーションを上手く取れて嬉しかったです、楽しかったです。

川口 大輝

久保園 凜太郎



ショートステイ利用の様子

子ども運動会

令和元年八月二十四日(土)に第五十二回仲よし運動会を鴨池屋内運動場(鴨池ドーム)にて開催しました。

当日は、特別支援学級(学校)に在籍する児童・生徒と保護者、鹿児島市特別支援教育研究会の先生方やボランティアの皆様併せて約四百名のご参加があり、玉入れやデカパン競争、パン取り競争等の種目でにぎわいました。

パン取り競争では、参加者が笛の合図に合わせて勢いよくスタートし、苦戦しながらも一生懸命パンを取り、上手に取れたことを誇らしげな表情で保護者の方や学校の先生に見せる姿が微笑ましく印象的でした。

この仲よし運動会が毎年実施することのできるのには、たくさんの方々の支えのおかげです。子ども達の笑顔溢れる楽しい運動会となるようにご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。



街頭広報活動

私たちのこともっと知って

八月三十一日(土)の十一時から約一時間、鹿児島中央駅前とイオンモール鹿児島において、毎年恒例となっており「街頭広報活動」を実施しました。

今年度の広報袋の詰め込み作業は、希望の園の就労支援B型に勤めている皆さんが、育成会事務局より委託を受けて、きれいに袋詰めされておりました。

それぞれの場所において利用者の皆さんが「育成会の宣伝カード」などの入った広報袋を、スムーズに配ることができま

した。気持ちよくもらってくださいる方が多く、利用者の皆さんもとても良い表情を



一日レクリエーション

一日レクリエーションに参加して

私たち育成会では、南薩方面へ一日ふれあいレクリエーションに参加しました。また、一般参加の方も多数おられ、バスも七台に約三百名が分乗する大きな行事でした。バスは、各出発地点から発車し、ミカン狩りの目的地である園田農園に到着しました。ミカン狩りは自由行動で、高い場所に行かれる方、低い所でミカン狩りをされる方で園田農園は育成会の参加者でいっぱいになりました。昼食では普段、職員と保護者の皆さんとのふれあいが少ないのでその日は、たくさんふれあうことができました。昼食後のレクリエーションは主にダンスでしたが、曲が鳴り始めると喜んで前に出てきて踊り、盛り上がりました。帰りのバスの中では、ビンゴ大会があり皆さん、ビンゴの番号が発表されるたびに一喜一憂を皆さん、とても満喫されているようでした。



みやまおとどけコンサート

「みやまおとどけコンサート」は、昨年に引き続き二回目となりました。今年度は、育成会家族会研修部の年間行事に位置付けて、二月一日、市民文化ホール(第二ホール)で開催しました。

育成会の各施設の利用者・職員百七十六名、育成会以外の団体(二団体)四十五名、その他家族等の個人が七十三名でした。合計では、二百九十四名の方々が入場されました。

演奏者は、「みやまコンセル」協力演奏家で、篠原文子様(ピアノ)、八木まゆみ様(ソプラノ)、中堂園都乃様(バイオリン)、下野由貴様(ハープ)の方々と、五代香織様が進行役を務めてくださいました。

演奏は、軽快な曲やしんみり胸に迫る曲など、素晴らしい十曲でした。特に「ドレミの歌」と「パプリカ」では、利用者の皆様も舞台上上がり、曲に合わせて身体を動かすなどみんなで楽しみました。

最後に、各施設代表の方から演奏者と進行役の方へ感謝の花束贈呈をして、楽しい時間が終わりました。



いぬごやし

きぼう学舎 川崎 帆華

私は平成二十九年まできぼう学舎を利用してました。高等部卒業後、子どもたちや人とかわる仕事をしたいと思い、令和元年八月からきぼう学舎で職員としてはたらくことになりました。利用者様の動きをたしかめることで安全に楽しくすごしていただけるように気をつけています。毎日、日誌をつけ職員の方にかくにとふりかえりをしていただくので、一日一日をのりこえることができます。これからは、利用者様の手本となるように、言葉づかいに気をつけることやご家族との関係性を深めていきたいです。

また、たくさんの方の体験の中で、失敗してもあきらめず学び、がんばっていききたいです。



〇多機能型事業所「きぼう学舎」

谷山地区にかねてから要望の多かった、多機能型児童通所支援事業所「きぼう学舎」が新規移転します。放課後等デイサービスには十名、未就学児等の児童発達に十名の定員でスタートします。人口密集地でありながらも、なかなか事業所の参入ができなかった南部地区。育成会として、地区の需要に応えていけるよう、準備を進めているところです。

新たな「きぼう学舎」どうぞ楽しみにしてください。

新きぼう学舎の建築の様子(建築工事写真)



新きぼう学舎オープン!!



編集後記

令和初の成人を迎えられた皆様、おめでとうございます。これからの活躍を期待しています。育成会の事業所に新しく石谷の郷がオープンしました。興味のある方はご遠慮なくご連絡やご見学にお越しください。今回、御多用の中、玉稿をお寄せくださった方々に感謝申し上げます。